

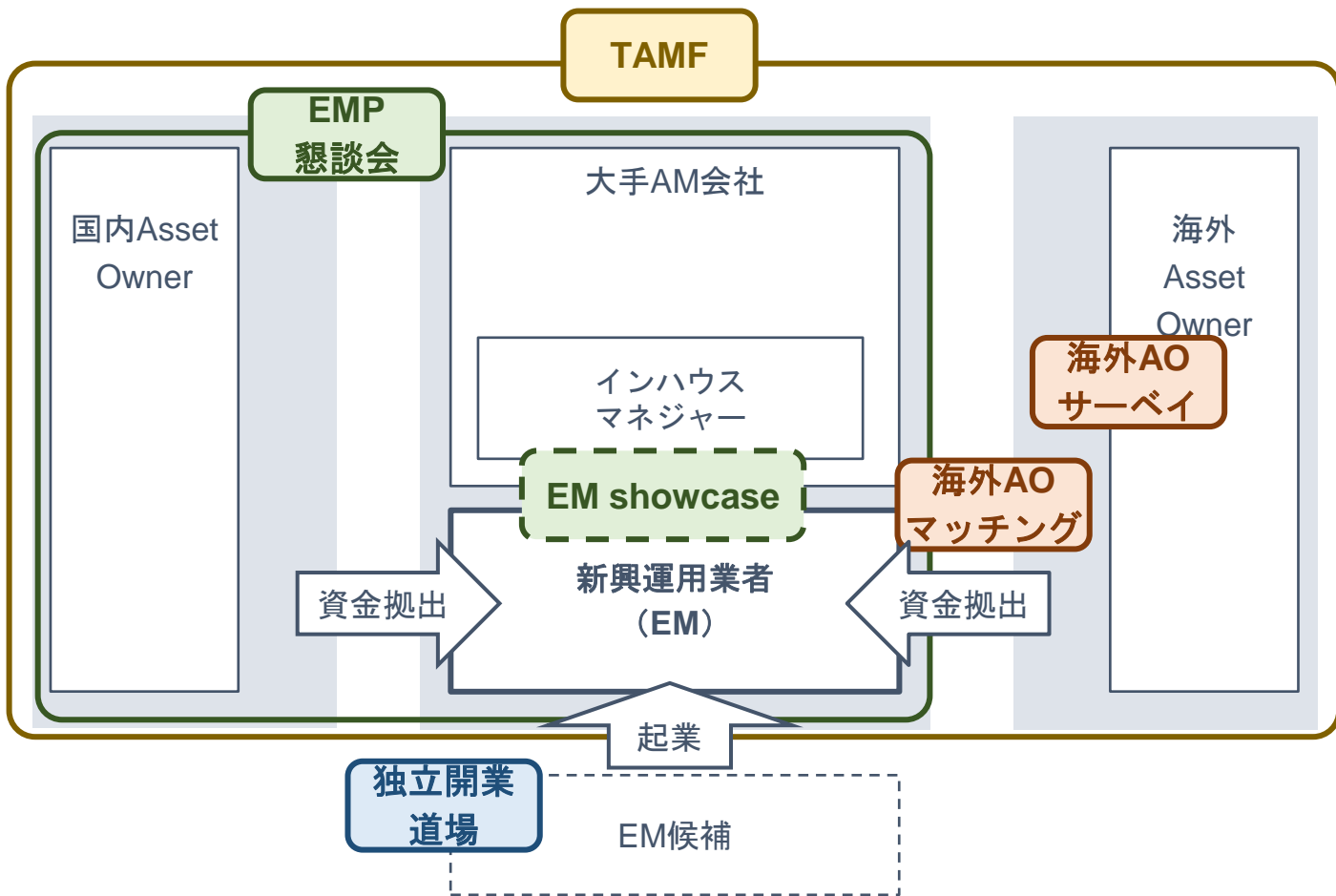
Emerging Managers Program Request for Proposal

As of April 2023

2023年度のプロジェクト全体像

EMP事業の目的： 新興資産運用業者（EM）の市場参入を促進し、国内資産運用業の多様化・高度化を促進

EMP各プロジェクトの位置づけ



- 1 **主要プレイヤーが一堂に会するフラッグシップイベント**
Tokyo Asset Management Forum (TAMF)
 EMPの認知度向上及びEMを始めとする国内資産運用者と国内機関投資家とのマッチング機会の創出
- 2 **次なるEMの創出と育成**
独立開業道場
 先輩EMや専門家による実務的な情報提供を通じた、次世代EMの独立・開業促進
- 3 **海外AOと国内EMとの架け橋**
海外AO マatching
 EMと海外AOのマッチング機会創出
海外AO サーベイ
 海外AOに対するEM投資の実態調査
- 4 **国内AOと国内EMとの架け橋**
EMP 懇談会
 「国内AOからEMへの資金拠出」「EMのトラックレコード構築」を後押しするための施策の具現化。
EM Showcase ※仮称
 EMのユニバースをデータベース化したうえで、優れたEMを表彰・紹介する施策。施策実現に向けて、懇談会を通じて検討・準備を行う。

1 Tokyo Asset Management Forum (TAMF)の開催

◆Objectives

- EMPの認知度向上及びEMを始めとする国内資産運用者と国内機関投資家とのマッチング機会の創出

◆Deliverables

- 上記Objectivesを実現するためのセミナーの開催（年1回）
- イベント登壇者・参加者間の交流を促進するネットワーキングの開催（セミナー前日or当日の開催をFCTは想定）
- 資料、当日収録映像のアーカイブ
- 翌年度に向けた改善点を明確にしたイベント開催報告書

◆Activity

- ターゲット参加者である国内AOの関心を引くような登壇者の選定
- イベント全体の企画立案
- イベント全体の運営（会場の選定、広告宣伝、集客、後援企業取りまとめ、登壇打診・スケジュール調整、ロジ運営含む）

◆Aspirational Goal

- イベント参加者のうち、20%以上をAO（国内外含）とすること
（2022年度実績：参加者370名、AOは参加者の約15%）
- イベントに参加したAO（これまでEM投資に興味が無かった社のみ対象）のうち、50%以上をEM投資に興味を持たせること
（効果測定方法の形式は自由。2022年度は当該効果測定を実施せず）

◆Remarks

- セミナーの開催形式は、会場＋オンラインのハイブリット開催であること
- 会場費用、Web配信費用、広告宣伝費、通訳費用、登壇者への謝礼（必要あれば）の費用負担を行うこと
- 「EM Showcase*」をTAMFにて開催する場合に限り、「EM Showcase*」登壇者に対する登壇打診・スケジュール調整・謝礼（必要あれば）の費用負担を行うこと

*「EM Showcase（後頁記載）」はTAMFのプログラムの一部として開催することを予定。

Tokyo独立開業道場の開催

◆Objectives

- 先輩EMや専門家による実務的な情報提供を通じた、次世代EMの独立・開業促進

◆Deliverables

- 上記Objectivesを実現するためのセミナー（Tokyo独立開業道場）の開催（年4回）
- 上記Objectivesを実現するための、既に開業に向けて準備を進めている方や真剣に開業を検討している方を対象とした、専門家との個別相談会の開催（年間通じて16者*）
- 資料、当日収録映像のアーカイブ
- 翌年度に向けた改善点を明確にしたイベント開催報告書

◆Activity

- 創業を希望する方にとってニーズがあるコンテンツの情報提供が出来る登壇者の選定
- イベント全体の企画立案
- イベント全体の運営（会場の選定、広告宣伝、集客、登壇打診・スケジュール調整、ロジ運営含む）

◆Aspirational Goal

- セミナー参加者のうち、10名以上を個別相談会実施に誘導すること（2022年度はセミナーから7名誘導。）
- セミナー参加者・個別相談会参加者が、投資運用業登録を行う実績を作ること

◆Remarks

- セミナー4回のうち1回は、法務コンプライアンス関連の内容とし、実開催にて、EMと法務コンプライアンス関連等の業部門従事予定者が交流できるような場を設定すること
- 会場費用（飲食代含）、Web配信費用、広告宣伝費、通訳費用（必要あれば）、登壇者・個別相談会対応者への謝礼（必要あれば）の費用負担を行うこと

*1名=1者と計測。2回以上の実施も1者と計測。また、法人登記後は、1社1名までとする。

3 EMと海外AssetOwner（AO）のマッチングイベントの開催

◆Objectives

- EMと海外AOのマッチング機会創出
- 海外AOに対するEM投資の実態調査

◆Deliverables

- 令和5年4月時点で、投資運用業（適格投資家向け投資運用業）の登録を行ってから5年度経過していないEM等（今後創業、登録を目指すファンドマネージャーを含む）と海外AO（3社以上）との個別マッチングイベントの開催
- 既存版に更新を加えた海外AOサーベイ（日/英）
- 翌年度に向けた改善点を明確にしたイベント開催報告書

◆Aspirational Goal

- FCTが指定する海外AO（10～15社程度）へサーベイを実施すること
- 当年度のマッチングイベントを契機として、海外AOから国内EMへ投資委託する実績を作ること
（2021年度の個別マッチングを行ったNorges Bank Investment Management（海外AO）がTrivista Capital（国内EM）に対して投資委託を行ったことが、2023年2月に公開）

◆Activity

- 国内EM市場に関心のある海外AOのロングリスト作成、ネットワーク構築
- 海外AOにとってニーズがあるEMの選定
- イベント・サーベイの企画立案
- イベント・サーベイの運営（参加打診・スケジュール調整、ロジ運営含む）

◆Remarks

- Web配信費用の費用負担を行うこと

4 EMP懇談会の開催

◆Objectives

- 「国内AOからEMへの資金拠出」「EMのトラックレコード構築」を後押しするための施策の具現化

◆Deliverables

- 上記Objectivesの実現に向けた検討・準備を行う懇談会の開催（年4回）
- 「国内EM database」から優れたEMを抽出し紹介する制度としての「（仮）EM Showcase」の開催（年1回）
- 各懇談会における議論内容を取り纏めた報告書の納品
- 「EM Showcase」の実施報告書

◆Aspirational Goal

- 「EM Showcase」の実施

◆Activity

- 懇談会開催に係るロジ運営（会議アジェンダ、当日説明資料の作成、委員とのスケジュール調整等）
- EMP懇談会開催に係る各種ステークホルダーとの連携
- EMP懇談会開催に向けた論点整理
- 公的機関等への働きかけに関する政策提言作成への助言
- EM Showcaseの実施体制・ガバナンスの設計
- EM Showcase開催に係るロジ運営（開催形式*の選定、広告宣伝、ステークホルダーの取りまとめ等）
- 国内EMの情報が網羅された「EM database」の要件定義

* 「EM Showcase」はTAMFのプログラムの一部として開催することを予定。TAMFとは別機会にて実施する場合は、会場費用、Web配信費用、広告宣伝費、通訳費用の負担を別途行う。

対応期間・金額

- 対応期間 : 2023年6月～2024年3月
- 委託金額 : 3,700万円（税込み）
- 選定方法 : 企画競争入札
- 評価 : 提案内容と価格を総合的に判断して選定。提案書は次項に掲げた評価項目を踏まえ作成すること。
- 支払い方法 : 契約期間満了時に提出する納品物（報告書等）をもって2023年度末までに支払う（相談可）
- 備考 : 全プロジェクトの受注ではなく、分離応札*も可能とする。また、事業遂行に当たり、再委託も可能とする。

*分離応札時の金額内訳

◆パッケージA →1,950万円

- 1 TAMFの開催
- 3 EMと海外AOのマッチングイベントの開催

◆パッケージB →1,750万円

- 2 Tokyo独立開業道場の開催
- 4 EMP懇談会の開催

評価項目

以下項目毎に配点を行い、委託事業者を選定するもの

評価項目	審査のポイント
業務体制	<ul style="list-style-type: none">● 当法人と円滑な連携が可能で、主体的に事務局を運営する体制及びその責任者が確保できているか。● 本事業運営に対し、専門的かつ的確なアドバイス・サポートができる知識・経験を有するか。● （海外AOマッチング応札事業者に限り審査対象）外国語スキルについて、金融関係者との折衝、交渉、コミュニケーションが可能な体制を組んでいるか
本事業に関わる各種ステークホルダーとのネットワーク	<ul style="list-style-type: none">● 国内外の金融関係者（国内外AO、EM等）及び監督官庁とのリレーションシップを構築しているか。構築していない場合は、構築が可能なルートを有しているか。
情報収集・調査能力	<ul style="list-style-type: none">● 各プロジェクトに必要な情報を、網羅的に、正確に、かつ迅速に収集する能力を有しているか。● 収集した情報から有用な箇所のみを資料等でアウトプットする能力を有しているか。
プロジェクトマネジメント能力	<ul style="list-style-type: none">● 各タスクに対する仮説構築能力を有しているか。● プロジェクトにおけるObjectivesを常に理解し、Objectives実現を見据えたタスク管理を適切なスケジュール感を以て実施できるか。

業務履行にあたっての留意点

- 本事業の企画・運営にあたっては、無理のないスケジュールを立案の上、適切な進行管理を行い、期限を遵守するとともに、確実に業務を執行すること。
- 本事業を円滑に推進するため、事業の実施方針や進め方、技術的対応等について、FinCity.Tokyoと十分に調整を図るとともに、FinCity.Tokyoから申し出があった場合には、速やかに本委託業務の進捗状況を報告すること。
- 契約金額には本業務の履行にかかる一切の費用を含むものとし、金額的に実施不可能な提案は行わないこと。
- 本委託業務の提案・実施に当たり知りえた情報（本仕様書の内容及び中期事業計画を含むがこれらに限られない）については、他の目的で使用し又は第三者に開示しもしくは漏洩してはならないものとする。本委託契約終了後も同様の取扱いとする。
- 事業者の決定については、提出された提案書を基に書面審査を行い、その後必要に応じてFCTの指定する企業について審査会を実施し、提案内容を総合的に判断して選定する。今後のスケジュールについては、以下のとおりとする。なお、スケジュールは今後変更する可能性がある。

【今後のスケジュール】

4月19日（水）：RFP公示

5月12日（金）：提案書提出期限（当日17:00までに送付ください）

5月13日（月）～5月17日（金）：事業者の選定

6月 1日（木）：事業開始

権利の帰属

- この仕様書に基づく業務により作成された作成物に係る著作権の全ては、FinCity.Tokyoに帰属するものとする。受託者は、FinCity.Tokyo及びその指定する者に対して成果物の著作権者人格権の行使をしないこと。
- 作成等に当たり、第三者の著作物を利用する場合には、当該第三者から受託者が適切な許諾を得ておくこと。なお、委託完了後もFinCity.Tokyoが無償で著作物を利用できるようにすること。
- 作成等に当たり、他者の著作権を含む知的財産権、肖像権その他のいかなる権利も侵害しないこと。万一他者の権利に抵触した場合は、受託者の責任と費用をもって適正に処理すること。

<RFP提出・問い合わせ先>

一般社団法人東京国際金融機構（FinCity.Tokyo）

事務局 村井（shotaro.murai@fincity.tokyo）

東海林（misaki.shoji@fincity.tokyo）

Appendix

EM, GC, EMPとは何か

- Emerging Managers (EM) は以下3点を満たす資産運用会社として本資料上は定義する。
 - 販売会社（大手金融グループ）から独立していること
 - 会社設立から期間が短いこと（設立約5年以内が目安*）
 - 運用残高が小さいこと（約1,000億円以内が目安*）
- EMP事業を通じて、FinCity.Tokyoは、Emerging Managers (EM) をGrowth Capitalists (GC)と定義することもある。

- EMP (Emerging Managers Program)とは、新興資産運用業者(Emerging Managers)への運用資金拠出促進を図るプログラム
 - 各国金融都市では、政府ないしは政府系 Asset Owner (AO) がEMPを推進し、資産運用イノベーションを促進している
 - 日本では、機関投資家等がEMに対してシードを拠出する環境が十分に整っていないことが国際金融都市構想における課題として挙げられている

*日本の公的年金が設置しているマネージャーエントリー制度は概ね「運用実績（年数）5年以上」「運用残高1,000億円以上」を要件としている。

(参考) 2022年3月時点のEMP懇談会委員

座長：アセットマネジメントOne 代表取締役社長 菅野 暁 氏

三井住友トラスト・アセットマネジメント
代表取締役社長
菱田 賀夫 氏

かんぽ生命
常務執行役
春名 貴之 氏

渋澤 健 氏

科学技術振興機構
運用業務担当理事
喜田 昌和 氏



FinCity.Tokyo
専務理事
有友 圭一

日本政策投資銀行
常務執行役員
原田 文代 氏

レオス・キャピタルワークス
代表取締役会長兼社長
藤野 英人 氏

(参考) 2022年度TAMFアジェンダ

Agenda Tokyo Asset Management Forum 2022 Autumn

総合司会 小野塚恵美氏
エミネントグループ 代表取締役社長
MC Emi Onozuka President and CEO, Eminent Group

JST			
開会 Opening	15:00 (06:00 GMT)	開会のご挨拶 一般社団法人 東京国際金融機構 専務理事 有友圭一	Opening Remarks Keiichi Aritomo, Executive Director, FinCity.Tokyo
	15:10	基調講演 ① 「アセットアロケーション戦略による資産運用の高度化」 Grace Qiu, Senior Vice President, Total Portfolio Strategy, GIC	Keynote Speech ① “Asset Management Sophistication through Asset Allocation Strategies” Grace Qiu, Senior Vice President, Total Portfolio Strategy, GIC
	15:25	基調講演 ② 「大学ファンドの運用の考え方について」 科学技術振興機構 資産運用本部副本部長 資産運用室長 杉本直也氏	Keynote Speech ② “Key Investment Principles of the University Fund” Naoya Sugimoto, Co-Chief Investment Officer, Japan Science and Technology Agency
	15:35	基調講演 ③ 「資産運用業の高度化について」 金融庁 資産運用高度化室 室長 安達ゆり氏	Keynote Speech ③ “Enhancing the Asset Management Business” Yuri Adachi, Director of the Advancing Asset Management office, Financial Services Agency
休憩 Rest	15:45 15:55	資産運用者プレゼンテーション ①	Presentation by Asset Managers ①
	16:25	パネルディスカッション ① 「業界リーダーのビジョンと新興運用業者への期待」 アセットマネジメント One株式会社 取締役社長 菅野 暁氏 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社 代表取締役社長 菱田 賀夫氏 株式会社 日本政策投資銀行 常務執行役員 原田 文代氏 一般社団法人 東京国際金融機構 EMP Special Advisor 石田 英和	Panel Discussion ① “Industry Leaders' Vision and Expectations of Emerging Managers” Akira Sugano, President and CEO, Asset Management One Yoshio Hishida, Representative Director and President, Sumitomo Mitsui Trust Asset Management Humiyo Harada, Managing Executive Officer, Development Bank of Japan Hidekazu Ishida, EMP Special Advisor, FinCity.Tokyo
	16:55	ファイヤーサイドチャット 「学術研究を通じた資産運用の高度化」 Kenny Lam, CEO, Two Sigma Asia Pacific (Video message) David Siegel, Co-Founder and chairman, Two Sigma	Fireside Chats “Asset Management Sophistication through Academic Research” Kenny Lam, CEO, Two Sigma Asia Pacific (Video message) David Siegel, Co-Founder and chairman, Two Sigma
休憩 Rest	17:20 17:30	資産運用者プレゼンテーション ②	Presentation by Asset Managers ②
	18:00	パネルディスカッション ② 「大学が取り組む資産運用の高度化とイノベーションの創出」 国際基督教大学 理事長特別補佐・基金担当理事 新井 亮一氏 早稲田大学ベンチャーズ 共同代表/ジェネラルパートナー 太田 裕朗氏 東京理科大学イノベーション・キャピタル 代表取締役 マネージング・パートナー 片寄 裕市氏 上智大学 特任教授・学長特別顧問 上智学院理事 引間 雅史氏	Panel Discussion ② “University's efforts to Advance Asset Management and Create Innovation” Ryoichi Arai, Director of Endowment, International Christian University Hiroaki Ohta, Co-Chairman/General Partner, WASEDA University Ventures Yuichi Katayori, Managing Partner, Tokyo University of Science Innovation Capital Masafumi Hikima, Special Advisor to the President, Sophia University
閉会 Closing	18:30 (09:30GMT)		

(参考) 2022年度独立開業道場アジェンダ

- 第1回、第2回はオンライン開催。Zoomセミナー終了後に質疑応答セッションを設けた。
- 第3回、第4回は会場とオンラインのハイブリッド開催。会場でのネットワーキングをおこなった。

Program		第1回 8月30日(火) 18:00~20:00 ※ オンライン開催	第2回 11月1日(火) 18:00~20:00 ※ オンライン開催	第3回 12月13日(火) 18:00~20:00 ※ 会場&オンライン開催	第4回 1月30日(月) 18:00~20:00 ※ 会場&オンライン開催
セミナー	■ 開会挨拶 5min	一般社団法人 東京国際金融機構 横田 雅之			一般社団法人 東京国際金融機構 EMPスペシャルアドバイザー 石田 英和
	■ 講演① 15min	講演① 創業からライセンス取得まで		トライヴィスタ・キャピタル (投資運用業) 法務コンプライアンス業務担当 広羽 泰子 氏	インベストメントLab (適格投資家向け投資運用業) 木村 要介 氏
	■ 講演② 30min~50min	講演② 資産運用業関連のライセンス取得手続きについて ※ 同じ内容で実施いたします。	50min	講演② 金商法等の検査対応 について 30min	講演② 資産運用業を取り巻く 税制に関する論点 30min
	■ 講演③~④ ~60min	講演③ 資産運用会社の創業 から事業拡大までの 諸課題 30min	講演③ 登録申請時の留意点 20min	講演③ ケイマン籍ファンドの 利用について 50min	講演③ 投資信託プラットフォームとの連携について -JAMPファンド・マネジメントの紹介- 50min
	■ 質疑・歓談 30min	講演④ EMファンドの富裕層 への販売について 20min	50min	Walkers Thomas Granger 氏 Timothy Stevens 氏 英語	講演④ 東京都EM育成施策 と閉会の挨拶 5min
		日本資産運用基盤グループ 大原 啓一 氏	関東財務局東京財務事務所 相澤 智美 氏	キャピタル・パートナーズ証券 斉藤 貴 氏	東京都 永島 雄介 氏
		登壇者毎のオンラインルームで、出入り自由な質疑応答時間とさせていただきます		会場での、講演者ごとの質疑応答時間、その後は会場での歓談時間とさせていただきます	

※講師及び講演内容が都合により変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

(参考) 2022年度海外AOマッチングアジェンダ

	日時	AO			EM 参加数
		参加者	AuM	AO概要	
Day1	2023年 2月21日（火） 17:00-19:00	GIC Private Limited	\$690B	<ul style="list-style-type: none"> シンガポールの外貨準備を運用する為に設立されたソブリン・ウエルス・ファンド。 	10社
Day2	2023年 2月22日（水） 07:00-09:00	Teacher Retirement System of Texas	\$184B	<ul style="list-style-type: none"> テキサス州の教員向け年金基金 約\$2BをEM投資に割り当て 	6社
Day3	2023年 3月24日（金） 17:00-19:00	Norges Bank Investment Management	\$1,136B	<ul style="list-style-type: none"> ノルウェー中央銀行のファンド管理部門 ノルウェー政府年金基金を運用 	3社

(参考) EM Showcase実施プロセス案 (2022年度第4回懇談会資料)

